

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	内田議員 (自民)	1. 千代田区の地域産業の活性化について  2. マンション管理の適正化について	① リーサス (RESAS) を活用した商工振興施策 ② 秋葉原や神保町など多様性のある街への支援 ③ 起業したい街への環境づくり  ① 都市に急増する限界マンション ② マンション管理の適正化	区 長 関係理事者
2	小林(た)議員 (自民)	1. 「職員の定数と人材育成」について  2. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた観光資源の開発と緊急時の活用について	① 千代田区職員定数条例第2条に定めた各部局の定数の根拠・考え方について問う。 ② 非常勤職員、派遣職員、臨時職員、正規職員に加え様々な雇用形態で職員が構成されているが、それぞれの役割と措置の考え方について、正規職員の役割は何であるか改めて認識を問う。 ③ 千代田区職員定数条例の見直しの方向性と作業スケジュールを示し、人口が増えニーズが多様化する中、業務量をどのように分析し、職員の量（人数）と質（人材育成）をいかに考えていくのか問う。 ④ 団塊世代の職員の大量退職に伴い、その世代のノウハウの継承に関する方策の検討はなされているか。H28年度決算審査意見書は今後10年で約340人の定年退職者が出るとの指摘にどのように対応しているか問う。 ⑤ 職員の人材育成、質の維持確保については、団塊世代等のベテラン職員のノウハウの継承がヒューマンエラー防止に寄与すると考えるが如何かご見解を。 ⑥ 定年延長については、国の動向を鑑み検討するとしたがその後の検討状況を問う。 ⑦ 専門職の雇用について問う。 ⑧ 職員の年齢層、世代間のばらつきをどのように改善していくのかご見解を。  1. 水辺を魅力ある観光資源として活用してはどうか。 ①水辺の活用ライトアップによる街並みの演出等 ②都と東京のナイトライフの充実に役立つモニターツアーの実施等 ③船着場でのコンサート等 ④神田川・日本橋川をモーターボートで聖火運び 等 2. 地震発生等で鉄道・地下鉄・道路が麻痺した場合、代替手段として水路を事前に確保、観光資源の代替利用は。	区 長 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	米田議員 (公明)	子育て支援について  防災対策について  公園の禁煙化について	区では発達の遅延を疑う園児に対し様々な支援を行っている。それでも今後、発達の遅延を疑う園児が増加すると見込まれている。今後、どのように対策していくか区としての見解を求める。 またこのような園児に対し理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士などを保育園に派遣し、相談、発達を促す支援を提案する。  大阪で大きな地震が発生し悲惨な被害がおきた。 区でも教育委員会と連携して、緊急に区内小中学校、保育所の通学路において、ブロック塀など安全の総点検をすべきと考えますが、区教育委員会の見解を求める。  代替園庭となっている公園が4月から禁煙となった。これまで2か月の成果と課題は。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
4	池田議員 (自民)	・障害児を含む障害者支援の充実を求めて	・放課後等デイサービスへの報酬改定にともなう問題の現状把握と今後の対応としてお考えは。 ・学童クラブでは対応出来ない児童や生徒を引き受ける児童発達支援の環境整備の強化についてお考えは。 ・18歳までの障害児支援とその後の障害者支援との連携の強化を求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
5	大坂議員 (自民)	保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境の整備について。	・保育園と学童クラブの待機児童ゼロに向けた施設整備の現状と課題について。 ・多様なライフスタイルにより、変化する保育ニーズに対する学童クラブでの対応について。 ・人口の急激な増加によって、通園区域内にある区立幼稚園に入園しづらくなっている現状の認識と今後の対策について。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
6	山田議員 (自民)	人生100年時代を迎え、高齢者施策について	○高齢者施設整備について ○高齢者の就労促進・支援について ○高齢者の健康維持について ○介護保険料について	区 長 関 係 理 事 者
7	小林(や)議員 (自民)	2020 オパラを控え、秋葉原周辺の国道、都道の歩道におけるネズミ対策について	2020 オパラを控え、世界のアキバ周辺の国道・都道の歩道植栽部における、ネズミ駆除対策および飲食店の生ごみ搬出について、保健衛生の観点から千代田区として指導監督すべきと考える	区 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
8	牛尾議員 (共産)	(1) 子どもたちの命を震災から守るために  (2) 住み続ける権利を保障する住宅施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪北部の地震で9歳の尊い命が学校現場で犠牲となった。このような悲しい事態を防ぐために学校や通学路、保育施設等の安全点検や改善を求める。</li> <li>・石川区長の住宅施策の認識について問う。</li> <li>・住み続けられる千代田区へ公共住宅の増設を住宅施策の柱に据えることを求める。</li> <li>・家賃助成制度の拡充など住宅施策の拡充を求める。</li> </ul>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
9	飯島議員 (共産)	1) 学校内の「いじめ」について  2) 区立図書館について  3) 障害者福祉手当の拡充	<p>いじめに対しては、当事者とクラス全体、保護者も含めて真正面から取り組む姿勢が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育委員会の取り組みを問う</li> <li>② 道徳の教科化と人権教育</li> <li>③ だれもが楽しく過ごせる学校に</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 区民に親しまれる図書館に</li> <li>② 学校図書館をもっと生かすために</li> </ul> <p>精神保健福祉手帳が交付されている方を対象にすることを求める</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
10	桜井議員 (自民)	○改正民法成立について  ○区の街路樹について	<p>○146年ぶりに変わる改正民法とは</p> <p>○区民への影響は 何が変わるのか</p> <p>○区民に一番身近な自治体として区は何をすべきか</p> <p>○街路樹が悲鳴をあげている。この現状をこのままにしてよいのか</p> <p>○通行人にとって安全な歩道空間を確保する為に区は何をすべきか</p> <p>○区の街路樹植栽計画とは</p> <p>○本区には国道、都道、区道と道路管理者の異なる道路があるがどのように連携をとって植栽計画を進めているのか</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
11	小枝議員 (声)	1「番町地域まちづくり」を例に合意形成のあり方、区の責任と判断について	<p>1) 都市計画マスタープランにおける番町地域まちづくり将来像について区はどう認識しているか。</p> <p>2) 同エリア現行地区計画の目標方針および高さの制限を厳格にしたいいわゆる「番町ルール」について、区はどう評価しているのか。住民の意識、現状の課題をどのように把握しているか。</p>	区 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	小枝議員 (声)	2 超高層誘導以外のまちづくり手法と支援策について	<p>3) 「番町ルール」は緩和型の手法を用いた場合の高さ制限を最高でも60mと定め、超高層を排除することでまちの個性、都心に貴重な文教地区、住居地域としてのブランド維持を明確にした。この方針を180度変える理論構築が可能と区が判断した根拠は。</p> <p>4) 駅バリアフリーや商店街の活性化は、現行地区計画に沿って街並み更新がされる中で解消するものとの地域住民の認識について区はどう考えているのか。</p> <p>5) 事業者は開発の自由度を高めたい、地域住民は住環境と地域の価値を守りたい。双方の利害を調整しながら10年前に決定した最大60mの高さ制限を、多数の住民が知らないところで2.5倍150mを可能とする方向で変更することの正当性に区は責任が持てるのか。他。</p>	区 長 関係 理事 者
12	寺沢議員 (紡憲)	<p>災害対策について</p> <p>外神田一丁目の川沿いの区民施設整備について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の視点からの防災対策</li> <li>・川の条例と川の危機管理対策</li> <li>・大槌町への職員派遣について</li> <li>・区民の為の必需施設である清掃事務所と万世会館の整備を適時適切に行うことについて</li> </ul>	区 長 関係 理事 者
13	林議員 (千代田)	<p>千代田図書館ホームページ改竄の事故対応</p> <p>指定管理者制度導入後の成果検証</p> <p>今後の図書館運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改竄事故発生時から指定管理者と区の対応</li> <li>・事故に際しての指定管理料の取扱い</li> <li>・事故の責任分担をどう認識しているのか？</li> <li>・「教育と文化のまち千代田区宣言」を踏まえた図書館</li> <li>・モニタリングを踏まえた成果検証</li> <li>・図書館本館を指定管理者にした利点と欠点</li> <li>・指定管理者制度のあり方</li> <li>・まちかど図書館の増設</li> <li>・公共施設適正配置構想と教育条件整備の推進について教育長の見解を問う</li> </ul>	区 長 教 育 長 関係 理事 者

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
14	秋谷議員 (至誠会)	<p>1 道路の点検とメンテナンスについて</p> <p>2 証明書のコンビニ交付について</p> <p>3 防災訓練を通じた区民への情報提供</p>	<p>(1) ア 区道での怪我、街路樹の枝折れなどによる損害賠償請求事件の頻度はどの程度か。 イ 弁済の必要があった事件のうち、金額の大きかったものはどのくらいか。 ウ 事件対応をする職員の労力はどれくらいか。 (2) 区道の日々の点検作業と修復作業はどのようにおこなっているか。 (3) 区民が修復して欲しいと考えた場合、どのようにすればよいか。それは周知されているのか。</p> <p>(1) マイナンバーを使用した証明書のコンビニ交付の準備状況とスケジュールはどうなっているか。 (2) 交付時間の制限があるのはなぜか。一般の証明書と戸籍とで差がある理由は。 (3) 代理人交付は可能か。 (4) マイナンバーカード取得の促進は、いかに図られているか。証明書のコンビニ交付を活かして促進を図ることはできないか。</p> <p>(1) 避難所は区民避難所であること、帰宅困難者に対する情報提供をしてあげればよいことなどを周知徹底すれば区民は安心するのではないか。 (2) 「在宅避難」という考えの周知徹底を図るべきではないか。 (3) 在宅避難の考え方をしっかりと周知することで、住宅の耐震化、家具などの転倒防止対策の重要性の理解が深まると思うが、その点はどのような認識か。 (4) 訓練については、委託している業者はどのように関わっているのか。</p>	区 長 関 係 理 事 者
15	はやお議員 (千代田)	<p>1. 九段中等教育学校の特色ある教育の達成状況について</p> <p>2. 九段中等教育学校の特色ある教育の実現に向けて</p>	<p>(1) 「千代田区の中高等教育将来像」や「千代田区における中等教育の在り方検討会報告書」等を踏まえた九段中等教育学校の現状と課題について (2) 九段中等教育学校の特色ある教育の総括(成果と課題)について ・計量的な視点も踏まえた達成度評価 ・九段中等教育学校の基本理念(コンセプト)は貫かれているのか。</p> <p>(1) 九段中等教育学校の特色ある教育の実現に向けた施策について本区のことを問う (2) 「国家戦略特別区域法」を活用した公立学校運営の民間開放について(新たなアプローチ)</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

# 発言通告書（総括表）

平成30年第2回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
16	岩田議員 (立憲)	スフィア基準と避難所の環境 改善について  花粉症対策について	避難所の国際基準であるスフィア基準が、千代田区ではどこまで満たされているか。 基準を下回っているとすれば今後どのような対策をとるのか。  今や、国民病ともいえる花粉症について、千代田区はどのような対策をとっているのか。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者